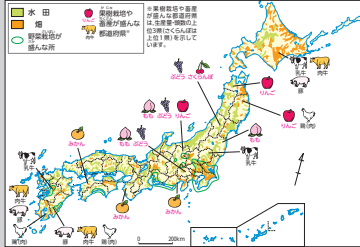
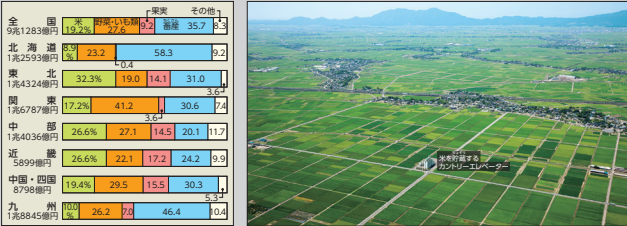
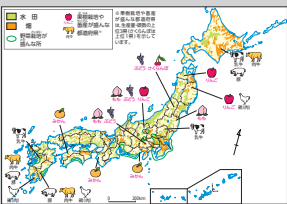


デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.158-159 日本の農業・林業・漁業とその変化
2. 目標 (1) 日本では、狭い耕地を有効に利用し、地域によりさまざまな農業が行われていることを理解できる。
(2) 日本の農業・林業・漁業に共通する課題について考察できる。
3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・日本では稲作や畑作のほかに、地形や気候に合わせた果樹の栽培が行われているなど、地域によりさまざまな農業が行われていることを理解している。
思考・判断・表現	・輸入農産物の増加や後継者不足と高齢化など、日本の農業・林業・漁業に共通する課題について考察し、表現している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	1. 「日本の農業地域」の図を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. 農業産出額が多い上位3都道府県を予想し、そのように予想した理由を考えながら、学習課題への見通しを持つ。	 p.158 1 日本ではどのような農業がどの地域で盛んなのだろうか。 農業産出額が多い上位3都道府県を予想して、その理由を説明してみよう。	○ 「日本の農業地域」の図を題材にし、水田と畑の分布、畜産や果樹栽培が盛んな地域など、図から読み取れる日本の農業のおおまかな特色を発表させながら、本時への導入を図る。 ○ 農業産出額が多い上位3都道府県を予想し、その理由を説明させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
学習課題：日本の農業・林業・漁業には、どのような特色や課題があるのだろうか。			
展開	3. 日本各地でさまざまな特色ある農業が行われていることを理解する。 (1) 稲作が盛んな地域 (2) 畜産が盛んな地域	 p.158 2 p.221 7 稲作が盛んな地域を挙げ、その理由を説明してみよう。   p.158 1 p.179 4 p.270 4 畜産が盛んな地域を挙げてみよう。	○ 「主な農業地域の農業産出額の内訳」のグラフから、米、畜産、野菜、果実の生産が盛んな地域をそれぞれまとめさせる。 ○ 稲作が盛んな地域を挙げさせ、その理由を考えさせる。 ◆ 雪どけ水が豊富な、東北地方や北陸の平野部で稲作が盛んなことを理解させる。 ○ 畜産が盛んな地域を挙げさせる。 ◆ 冷涼で農地の広い北海道地方では乳牛や肉牛の飼育、九州地方では豚や鶏、肉牛などの飼育が盛んなことを理解させる。

(3) 野菜栽培が盛んな地域



p.158 1



p.237 7

野菜作りが盛んな地域を挙げ、その特色を説明してみよう。

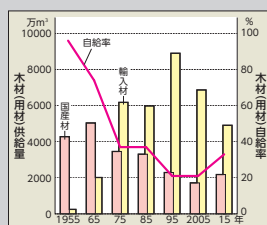
4. 日本の農業の特色と課題を考える。

	アメリカ合衆国	日本
1人あたり*の耕地面積 (ha)	71.3ha	1.7ha

p.100 3

日本の耕地面積の特色を説明してみよう。

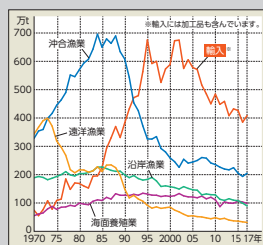
狭い耕地でも収益が上がるように、どのような工夫がされているのだろうか。



p.159 4

日本の林業の特色と課題を説明してみよう。

6. 日本の漁業の特色と課題を考える。



p.159 5



p.255 5

日本の漁業の特色と課題を説明してみよう。

○ 野菜栽培が盛んな地域を挙げさせ、その特色を説明させる。

◆ 関東では近郊農業が盛んなことを理解させる。

○ 日本とアメリカの1人あたりの耕地面積を比較させ、狭い耕地で収益を上げるため、どのような工夫が行われているか考えさせる。

◆ 野菜の促成栽培や抑制栽培、地形や気候に合わせた果樹の栽培など、付加価値を高める工夫が行われていることに気付かせる。

○ 資料から、日本の林業の特色と課題を考えさせる。

◆ 木材の輸入が増加し、林業従事者の減少と高齢化が進んでいる一方で国内産の木材が見直される動きもあることに気付かせる。

○ 資料から、日本の漁業の特色と課題を考えさせる。

◆ 漁獲量が減少し、水産物の輸入の増加していることや、各地でとる漁業から育てる漁業への転換が進んでいることを理解させる。

7. 本時のまとめをする。

日本の農林水産業が抱える課題について説明しよう。

8. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

◆ 日本の農林水産業が抱える課題について、海外の安い農産物の輸入の増加、従事者の高齢化と後継者不足などの課題に着目して説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。